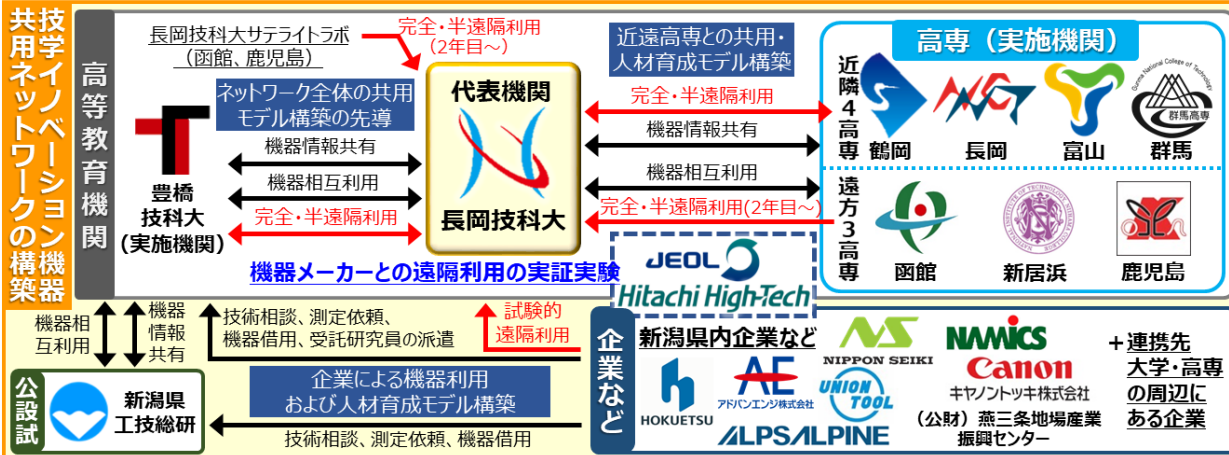


令和2年度第3次補正予算「先端研究設備整備補助事業 (研究施設・設備・機器のリモート化・スマート化)」



1. 提案内容の概要(実施方針、共用体制)

SHARE事業「技術イノベーション機器共用ネットワーク」



本事業にてSHARE事業「技術イノベーション機器共用ネットワーク」構想をスマート化・高度化・グローバル化へと展開

本申請

令和2年度第3次補正予算「先端研究設備整備補助事業(研究施設・整備・機器のリモート化・スマート化)」

- 高度グローバル支援できる特徴ある高機能を備えた遠隔機器の導入とそれらのVPN回線網への計画的整備
→ 新規導入機器および遠隔化システムの詳細は次ページ参照



- 機器メーカーとの強力な連携を通じた遠隔システムの定期的なブラッシュアップによるスマート化
- 機器メーカーとの強力な連携を通じた遠隔講習システムの構築と高度分析技能技術者の育成
- 複数機関が協働した講義・実験・実習への遠隔機器の利用および講義・講習用オンデマンド教材の作成・共用
- 新たな受益者負担制度(機器の特徴により利用料金を増額)による機器の安定運用と研究環境整備
→ 40歳未満若手研究者への優遇支援
→ 投稿論文数、特許出願数の成果に応じた優遇支援

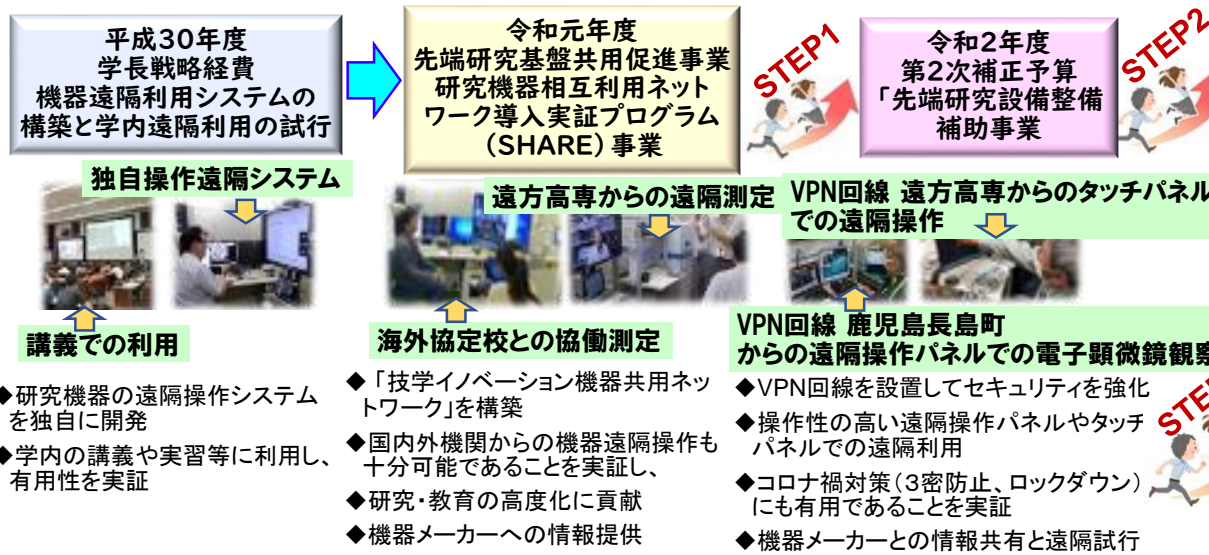
申請予定

令和3年度先端研究機器共用促進事業(コアファシリティ構築支援プログラム)

グローバル技術イノベーション共用機器ネットワーク

- 両技科大・全国高専で研究機器のコアファシリティ化を図る仕組みの構築
- 本学周辺および全国高専周辺の企業との共同研究に展開
- 遠隔機器を用いた共同研究の世界展開

本学・全国高専周辺の企業等を巻き込んだ産学共同研究を通じた地域の研究・教育力向上



- モノづくり研究教育の質の高度化
- アウトリーチ型高度分析技能を持つ若手研究者・技術者の育成
- 本学・高専の研究力強化
- 論文数・出願特許の増加
- 国際共著論文数の増加
- 高性能分析機器を利用した原理原則に基づいた地域モノづくり力の強化
- 高度分析技能を持つ人材育成
- 研究・教育のデジタル・トランスフォーメーション(DX)化およびそれを先導できる人材育成

地方創生 科学技術立国 } 貢献